

地質ニュース

第625号 2006年9月

目 録

地質情報インデックス検索システム「G-INDEX」	村田 泰章	1
地熱ボーリング・コアの画像データベースの一例	玉生 志郎・阪口 圭一・村田 泰章	2
2004年9月末の台風21号の豪雨により生じた土石流の流下高を示す指標	柏木 健司	3
晩秋の妙義山を訪ねる	須藤 定久	5

特集：地質情報整備の現状と将来（その1）

地質調査総合センターにおける地質情報の整備と公開	栗本 史雄	10
地質情報整備・発信の現状と課題		
－地質情報整備の現場から－	牧本 博	12
地質情報の総合検索のためのシステム開発		
－地質情報インデックス検索システムG-INDEX－	村田 泰章・川畑 大作・名和 一成	17
地質情報のWEB流通と電子認証	古宇田亮一・菊田 昌弘	23
地質図のベクトル化整備とその利活用	牧本 博・宮崎 純一	29
地質情報総合メタデータ	渡辺 和明・村上 裕	34
産総研・地質調査総合センターのオンラインデータベース	名和 一成	38
地熱ボーリング・コアの画像データベース作成	玉生 志郎・阪口 圭一・村田 泰章	42

三重県宮川村の春日谷における2004年台風21号


時に発生した斜面崩壊の被災状況（その2）		
－地すべりダムの上流	柏木 健司	49
砂と砂浜の地域誌（10）		
九十九里浜から銚子半島へ－人工海浜の草原化を見る－	須藤 定久	57

新刊紹介 建設技術者のための土砂災害の地形判読実例問題 中・上級編	66
編集後記	68

表 紙

屏風ヶ浦の断崖：千葉県旭市飯岡から銚子市外川まで、約10kmの海岸は、高さ50m余の断崖が連なり、屏風ヶ浦と呼ばれる。飯岡漁港脇の浜から屏風ヶ浦の断崖を見上げてみた。断崖は主に鮮新世・飯岡層の凝灰質泥岩からなり、上部にはローム層が載る。太平洋の荒波による浸食により崖の後退が著しく、後退防止のための護岸堤の建設やテトラポッドの設置が行われている。

（写真と文：須藤 定久）

 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3746

<http://www.gsj.jp/>